

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立日高特別支援学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が簡潔に示されている学校像である。現状・課題・期待などをより広く把握・分析し、学校の特色を生かした具体的かつ魅力あるものへと工夫できると更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	取り組むべき課題が示され、日々の教育活動の指針となるように目標が設定されている。解決に向けて何を変えていくのかという方向を明確にするなど、中期的な視点から更に検討することが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校評議員・学校評価懇話会の意見をまとめて、教職員に伝えるなど、共通理解に努めている。学校自己評価システムを運営するための組織体制がやや不十分であるので、組織の見直しを図るとともに、教職員全体や学校関係者が参画するように意識を高めていただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	児童生徒の意欲を引き出す教材・教具の工夫などが行われている。方策や評価指標がやや抽象的であるので、評価項目の達成に向けた具体的な方策を策定し、方策と指標との対応を明確にした上で、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点から、教職員間でその達成イメージを共有できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	教職員一人一人の能力を生かして組織力を高めようとする校長の意欲が感じられる。校長が的確にリーダーシップを発揮し、分掌・学部・教科などが全体の目標について共通理解を図った上で、適切に連携して取組を行うことを期待したい。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートを実施して結果を分析しており、学校自己評価のための情報が収集されている。アンケートや学校関係者の意見などを有効に活用し、次年度の課題や改善策に生かして、より具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			